

調査期間 2013年9月16日～継続中
所在地 伊勢原市上粕屋
時代 近世・古墳・縄文
調査原因 一般国道246号（厚木秦野道路）
建設事業に伴う埋蔵文化財発掘
調査
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西
約3kmに位置する。



主な調査成果

調査は2013年度から継続しておこなっています。近世では掘立柱建物跡や溝のほか、上幅8～10m、下幅約4m、深さ1m以上もある大規模な道状遺構が見つかりました。出土した陶磁器や火山灰から17世紀に使用されていたことがわかり、江戸時代の大山道だと推定されています。古墳時代の遺構では古墳の周溝があり、主体部は残存していませんでしたが、副葬品のガラスや瑪瑙、碧玉、琥珀製の玉類が見つかりました。現在は縄文時代の遺構調査を進めています。昨年度の調査区では縄文時代早期の陥穴や集石、後期前葉の敷石住居跡や屋外埋甕などが多量の土器とともに発見されており、今年度調査区でも縄文時代の遺構が見つかることが予想されます。



大山道と推定される3号道状遺構（北から）



3号道状遺構に伴う斜路



手前から4号・5号・6号古墳



6号古墳出土玉類